

Canforo とは、イタリア語で「くすのき」を意味します。
愛媛県美術館の中庭に立つ3本の大きなくすのきにちなんで名付けられました。

平成 21 年 4 月 4 日 [土] - 5 月 17 日 [日]

休館日は、毎週月曜日(ただし、4/6(月)、5/4(月・祝)は開館し、4/7(火)、5/7(木)は休館)

●時間 / 9:40~18:00(入場は 17:30 まで)

企画展

薔薇空間

宮廷画家ルドゥーテとバラに魅せられた人々

ピエール=ジョゼフ・ルドゥーテ(1759-1840)は、フランス国王ルイ 16 世の王妃マリー・アントワネットや、ナポレオン皇后ジョゼフィーヌに仕え、その恵まれた才能を存分に生かし、宮廷の庭に咲く植物を描きました。特にジョゼフィーヌは植物に大に関心を抱き、世界中から珍しい品種を収集しては、園芸の専門家を雇い、育てていました。ルドゥーテはこれらの植物を記録することを任されたのです。中でもその芳香や美しい姿から、高貴な花として古代から崇められてきたバラに対しては、格別な愛情が注がれ、ルドゥーテは図譜を作成することを提案します。残念ながらジョゼフィーヌはその完成を見ることなく亡くなりましたが、1817 年から 24 年にかけて出版された「バラ図譜」は現在にいたるまで絶大な人気を博し、ポタニカル・アートの金字塔とされています。

本展覧会では「バラのラファエロ」と称されたルドゥーテの仕事の中で最も有名な、「バラ図譜」を構成する、全 169 枚の銅版画を中心に、日本のポタニカル・アートの先駆者、二口善雄や現代の写真家、齋門富士男の作品まで、バラの魅力をたっぷりご紹介いたします。(H.S.)

関連イベント

- 1 学芸員によるフロアレクチャー
4月11日(土)、5月16日(土) 各 14:00~(1時間程度)
- 2 美術講座「植物画と薔薇の魅力」
5月2日(土) 14:00~16:00
- 3 「魅せられて」バラ好きのためのセミナー-バラの育て方などの解説
4月19日(日)、26日(日)、5月6日(水・振休) 各 14:00~(2時間程度)
- 4 フラワーアレンジメント講座-バラを中心に制作
4月18日(土)、25日(土) 各 11:00~、13:30~(1時間程度)
- 5 美術館中庭が小さなローズ・ガーデンへ
4月17日(金)~19日(日)、24日(金)~26日(日)
5月5日(火・祝)~6日(水・振休)

*1,2,3は、企画展観覧券または友の会会員証が必要です。
*4のみ愛媛県美術館まで事前にお申し込みください。詳細はお問い合わせください。

ピエール=ジョゼフ・ルドゥーテ
「バラ図譜」口絵部分
銅版画、コノサズ・コレクション東京

ピエール=ジョゼフ・ルドゥーテ
《ロサ・スルフィア》「バラ図譜」より部分
銅版画、コノサズ・コレクション東京



つぶやき

人前で大きな声で話せるようにと始めたヴォイストレーニングも、もう1年になるようになっています。男鹿和雄展では、お客様の誘導に声を酷使してしまいましたが……。次は薔薇の世界です。上品な植物画をお楽しみください。(H.S.)

普及レポート①

小清水漸によるワークショップ みんなの作業台 「こしみずさんてすごいなあ〜!!!」

自由な脚をして様々な飾りのついた台(写真1)。これは、11月30日(日)の美術館開館10周年記念の日、宇和島市出身の作家、小清水漸さんによるワークショップで参加者と作った「みんなの作業台」です。小清水先生の指導のもと、様々な形の脚6本に、伊予柑がついた枝1本の作業台を準備し、これに参加者が飾りをつけました。自由な発想大歓迎。作り方は、私に聞いてくれたら、お教えしましょう!

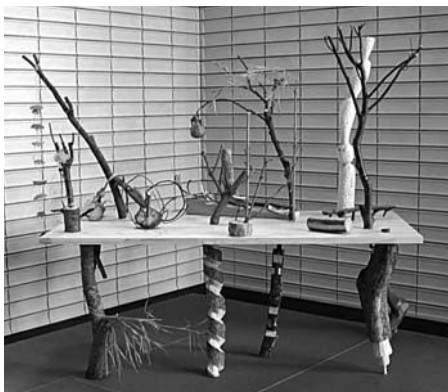


写真1

という頼もしい小清水先生の対応の成果でしょうか?木っ端を組み合わせた、太い大きな枝を削り出したりと思いの形の飾りつけ、にぎやかな作業台になりました。

その後、第二の課題として、「みんな(自分)の作業台」(写真2)創りも行いました。様々な種類、肌合いの自然木の中から3~4本の脚を選び、長さ=台の高さを決め、ほぞ(凸)を作り、天板にあげた穴に差込みます。脚が一本ずつ異なる種類の木を使ったり、枝がついている脚があったり、素敵な作業台が生まれました!

そして最後に参加してくれた小学1年生が母親にぼつり「こしみずさんてすごいなあ〜!!」(A.T.)



写真2

普及レポート②

第4回愛媛県美術館講座&アトリエ展 —みんなの手による展覧会—

「講座&アトリエ展」は、講座やアトリエを利用して制作した作品を展示し、美術館の普及事業を作品や映像により紹介する展覧会で、平成11年度から3年に1度開いています。

今年度は、会場を南館から新館へ移動し、普段は美術館の作品が並ぶ部屋での展示ということもあって、アトリエ制作者の意気込みも違っていました。

3年間の多種多様な講座での取組や、熱心に制作に励まれているアトリエ利用者の作品を通して、創作することの楽しさや魅力が伝わる展覧会となりました。

また、今回、出品作品のみならず展覧会自体もみんなの手で作ろうと、「展覧会ができるまで」というワークショップを実施しました。会場の下見から始まり、どうすれば見やすく効果的な展示ができるかという点を考慮しながら、キャプションや説明パネルのデザイン、展示方法について検討し、キャプション等、展示に必要なものの作成から展示作業まで行いました。学芸員の仕事の1つ、展覧会が立ち上がるまでの細々とした準備作業を知ってもらう機会にもなりました。

誰もが参加できる展覧会。3年後に向けて、出品を目標に講座に参加したり、アトリエ利用をしたりしてみませんか。(M.I.)



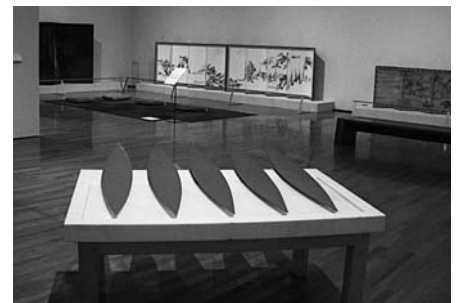
会場で、講座「なんちゃってミイラ」の1コマを体験!



特集展①

なぞなぞ美術館Ⅳ ~ Landscape・風景画を楽しもう ~

- 会期 / 平成 21 年 2 月 4 日 (水) ~ 6 月 7 日 (日)
- 休館日は、毎週月曜日
- (祝日、振替休日及び第 1 月曜日に当たる場合は開館し、その翌日が休館日)
- 時間 / 9:40 ~ 18:30(入場は 18:00 まで)



今年も恒例の「なぞなぞ美術館」の季節がやって来ました!この、なぞなぞ美術館の特徴は作品の横に付けられているキャプションが伏せられていること、その代わりに作品を見た鑑賞者の『私はこう思う!』という作品に対する感想文がついていること、そしてその『感想文』を見た、新たに展示室を訪れた鑑賞者が更に『私はこう思うんだけど!』と、また新しい「視点」が付け足されていくこと、作品をめぐる「対話」がどんどん広がっていくことにあります。今回のテーマは Landscape(風景)。「風景」と聞くと、異国や、または身近な山や川等の景色がイメージされますが、そこに浮かび上がるのは目にみえる「景色」だけではないはずです。そしてまたそれは、「固定」されたものでもないはずです。さあ、今回もなぞなぞ美術館でイメージの世界をたっぷりお楽しみください。そして、どうぞみなさんの感想を聴かせてください。(Y.S.)

特集展②

心と魂の軌跡 —今治市玉川近代美術館の所蔵品とともに—

- 会期 / 平成 21 年 2 月 4 日 (水) ~ 4 月 6 日 (月) 予定
- 休館日は、毎週月曜日
- (祝日、振替休日及び第 1 月曜日に当たる場合は開館し、その翌日が休館日)
- 時間 / 9:40 ~ 18:30(入場は 18:00 まで)

近代絵画の良質なコレクションで知られる今治市玉川近代美術館と当館の所蔵品から、大正期以降の名品を紹介いたします。

日本人が西洋の技法で描く、いわゆる「洋画」の分野では、明治時代に摂取した西洋の絵画技法を素地に、明治時代末から大正時代にかけて、西洋の新しい美術動向を踏まえ、いかに自己の内面を表現するかということが探求されました。また、版画の分野においても、「自画、自刻、自摺」を旨とする創作版画運動が盛んに展開されました。本展では、独自の表現を築いた小出権重、古賀春江、鳥海青児、そして、版画史上重要な位置を占める恩地孝四郎による、珠玉の名品約 20 点をご紹介します。

抑えた色調で内省的な空気をはらんだ作品の数々。華やかさとは程遠い画面には、しかし画家たちのいとなみが力強く刻印されています。ふたつのコレクションの出会いにより、彼らの心と魂の軌跡をたどっていただければ幸いです。(C.H.)



恩地孝四郎(萩原朔太郎の像)1943年 今治市玉川近代美術館蔵



目下、哇世海太郎展準備の真最中。このカンフォロが発行される頃には大勢のお客様の展覧会に来られていることを夢見で頑張る毎日です。はたの目的としての作風の註地海太郎、かわいいうつすも取のそえる予定なのでお見逃しなく! (C.H.)

つぶやき

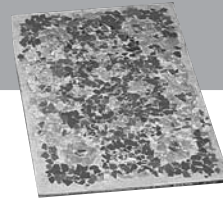
素材の時間・色の時間

この言葉を使い始めて3年が経ちました。3年前、2～4回の連続としていた実技講座を、単発でも参加できるけれど連続して参加すると一つのテーマにこだわられるように改定した際に付けた名称です。これまで、「素材」では「紙」「布」「木」を、「色」では「緑」「金」「黒」を取り上げてきましたが、21年度は「金属」と「朱」を取り上げます！

素材の時間では、空き缶や金属の棒を使って楽器を作る「金属の音づくり」(8月)や「アクセサリーを作ろう」(10月)を実施します。

また、色の時間では、手足やスポンジを使って盛大にスタンプする「朱デスタンプ」(5・7月)や、茜や蘇芳の朱系の色を染める「草木の色をいただきます！」(2010年2・3月)を開催します。

その他にも、展覧会や季節に合わせた講座を開催していきますので、美術館講座をお楽しみに！(A.T.)



普及事業

サッカー観戦をするように美術館で作品を楽しもう！

【対話型美術鑑賞】を行う作品ガイドボランティア第3期生を募集します！

対話型鑑賞法とは、鑑賞者自身が作品を主体的に〈みる〉〈考える〉〈話す〉〈書く〉という4つの力を基本に、美術史等の知識だけに偏ることなく、鑑賞者どうしのコミュニケーション(対話)を通して美術作品を読み解いていく鑑賞方法です。1980年代にニューヨーク近代美術館(MOMA)で生まれたこの手法は、近年、美術館だけでなく学校や福祉の現場等でも拡がりをみせています。愛媛県美術館では平成17年度よりこの対話型鑑賞法を取り入れ、現在第1期・2期のスタッフと共に常設展や企画展を中心に活発な活動を続けています。そしてこの度、更にこの対話型鑑賞法の活性化を図っていくため、第3期作品ガイドボランティアスタッフを15名程度募集します。応募条件、応募方法等については美術館HPにてご確認いただくか、または作品ガイドボランティア係までお問い合わせください。展示室で作品を使って「みる人が中心」の鑑賞活動を共に実践していきませんか？みなさまのご応募をお待ちしています。(Y.S.)



コレクショントーク

当館の収蔵品を使って行っています。作品ガイドボランティアが皆様の鑑賞のお手伝いをします。

○開催日時 毎日 14:00～15:00(30分～1時間程度)

○場所 新館2階常設展示室内

*都合により時間変更、お休みする場合があります。

TOPICS

美術館友の会会員募集！

昨年は入会者数が1,600名を越えました。ぜひ、会員になって、展覧会を鑑賞したり、研修旅行や美術教室に参加したり、美術館の活動を満喫してみませんか？詳しくは美術館友の会までお問い合わせください。

●お問い合わせ先 愛媛県美術館友の会 tel.089-932-0147



企画展

良寛墨宝展

最晩年の芸術と生涯

平成21年4月18日[土]～5月31日[日]

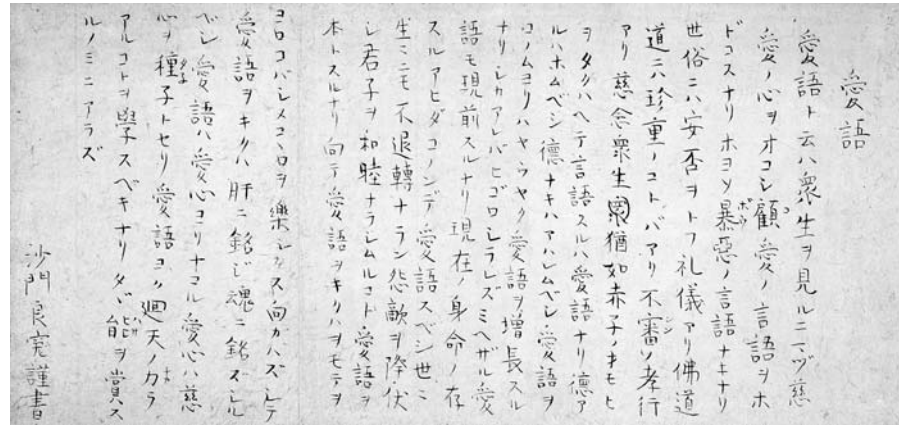
休館日は毎週月曜日(ただし、5/4(月・祝)は開館し、5/7(木)は休館)

●時間 / 9:40～18:00(入場は17:30まで)

「良寛さん」の名で今も親しまれている江戸時代後期の禅僧、良寛和尚(1758-1831)。子どもと鞠つきやかくれんぼをした「心優しいお坊さん」というイメージをお持ちの方も多いでしょう。その一方、良寛は江戸時代を代表する歌人であり書家でした。飾らない気持ちを歌い、平淡に表現したその書は、奔放でありながら高い品格に満ちており、日本の書道史の中でも特に評価されています。

江戸時代は、幕府の宗教統制によって宗教界全体が保守的になっていく反面、独自の信念に基づき実践することの重要性を説いた僧侶たちが、庶民の信仰を集めました。良寛の歌や書が伝統的な和歌・漢詩を学びつつも、そこを突き抜けて誰の真似でもない高みへ至っているのは、本来彼が厳しい禅の修業を経た宗教家だからこそです。良寛の他にも、禅画をよくした白隠・仙崖、独創的な木像を自ら造った円空・木喰(今年12月にはこの2人の展覧会も開催します！)など、今や江戸時代の美術を語る上で外せない彼ら個性派たちは、いずれも庶民の祈りに寄り添い、造形活動につとめました。

本展は、良寛が最晩年に亡くなるまで身を寄せた新潟県長岡市の木村家に伝わる書を中心に紹介するものです。同家所蔵の良寛作品は長らく門外不出でしたが、いずれも円熟の境地に達した名品揃いです。さらには、安田靉彦、平柳田中、村上三島といった良寛を慕った近代以降の芸術家たちの作品も併せて展示します。この春、「良寛さん」の魅力を心ゆくまで堪能していただければと思います。(T.N.)



《愛語》(木村家蔵)

関連講座

●早坂暁氏 記念講演会「天上大風」

5月4日(月・祝)

17:00～(16:30開場)

場所：松山市民会館中ホール

*申込不要。

先着500名。ただし企画展観覧券または友の会会員証が必要です。

●学芸員によるフロアレクチャー

5月9日(土)、23日(土)

14:00～15:00

場所：展示室

*各申込不要。ただし企画展観覧券または友の会会員証が必要です。

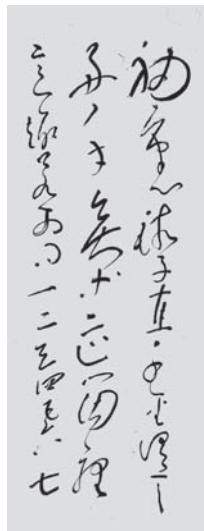
●美術体験講座「なりきり良寛さん」

4月29日(水・祝)、5月10日(土)

13:30～15:30

場所：南館アトリエ2

*申込不要、参加無料。



《六曲屏風》(部分) (木村家蔵)



岩田正己(桂家よりの贈物)(部分) (良寛記念館蔵)

アトリエ通信

info.1

創作スペースとして貸し出しているアトリエでは、1年間1つの種目を取り上げ、興味のある方たちが集まり、互いに技法について学びあう「アトリエ同好会」の活動を行っています。4月からは版画をテーマに、参加者を募集します。版画ということなので、木版画、銅版画、シルクスクリーン、リトグラフ、なんでも試してみようと思っています。日程については、ホームページ、アトリエにて告知しています。気軽にご参加ください。



info.2

アトリエ前でちょっとした素材遊び、イメージ遊びができる「アトリエひろば」を利用したことがありますか？今まで、手づくり楽器、お絵かきブロック、積み木でみなさんに親しんでいただきました。このたび新メニューとして、「アトリエの森」が登場しました。いろいろな肌触り、色柄の布でできた葉っぱや生き物を大きな木のある風景に好きに配置して、自分の絵を作ってみることができます。お話を作りながら、ぜひ遊んでみてね。



ハトの声(編集後記)

前号から始まった学芸員の「つぶやき」の欄、いかがでしょうか。日常の出来事から、学芸員の素顔がうかがえますか？そこに登場する動物や昆虫のイラストは、執筆者が自分自身を表すキャラクターとして真剣に自らが選んだものです。そのキャラクターの選択は、絶対に思わずにツツタリと声を上げたくります。美術館に来たとき、どの学芸員がどのキャラクターが探してみるのも楽しいかもしれません。(M. I.)



つぶやき

モズ(百舌)は、いろいろな鳥の声をまねておしゃべりして楽しむ鳥です。そして時に忘れ物も多く……。私も忘れ物忘れ物忘れとせう(う?)が多い今日この頃。誰か忘れ物はない、いい方法を教えてください。(Y.S.)

「薔薇空間展」「良寛墨宝展」に続く展覧会を紹介いたします。こどもから大人まで楽しめる展覧会を予定しています。お見逃しなく！

「こどものとも」絵本原画展

5月28日[木]～7月5日[日]

月刊絵本誌「こどものとも」では、1956年の創刊以来、優れた才能を持つ芸術家たちが数々の名作絵本を生み出してきました。初期の名作から近年の話題作まで、厳選した絵本原画に物語をそえて紹介する本展では、展示会場がまるごと「絵本」になります。豊かな心を育ててきた絵本の世界をお楽しみください。

著作権等の関係により図版を削除しております

ススキコージ
《きゅうりさんあぶないよ》
1996年

タツノコプロの世界展(仮称)

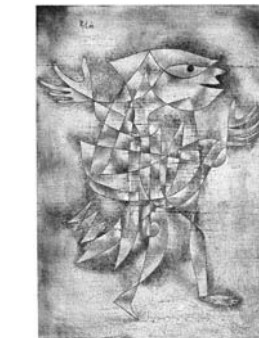
7月25日[土]～9月6日[日]

タツノコプロは、「世界のファミリーに夢を」のテーマで「宇宙エース」「マッハGOGO」「みなしごハッチ」「タイムボカンシリーズ」など数々の名作を生み出しました。半世紀の歩みを一堂に紹介します。

「20世紀美術の巨匠たち」展(仮称)

10月1日[木]～11月8日[日]

ドイツ・ケルン市にあるルートヴィヒ美術館は、20世紀美術のコレクションで世界的に知られています。本展覧会では、同美術館の全面的なご協力により、厳選された作品60点を特別公開する、ピカソやマティスなどのモダンアート、第二次世界大戦後の具象と抽象、アメリカのポップ・アートに触れるまたとない機会です。



パウル・クレー
《鳩の進化の進化》1929年
©Museum Ludwig Cologne

円空・木喰展(仮称)

12月12日[土]～1月24日[日]

江戸時代、全国を遊歴し自ら仏像を造った円空(1632-95)と木喰(1718-1810)。その独創的な表現を通して、江戸の豊かな庶民信仰のあり方を感じていただける展覧会です。



木喰(子安観音菩薩坐像(立木仏))愛媛・光明寺